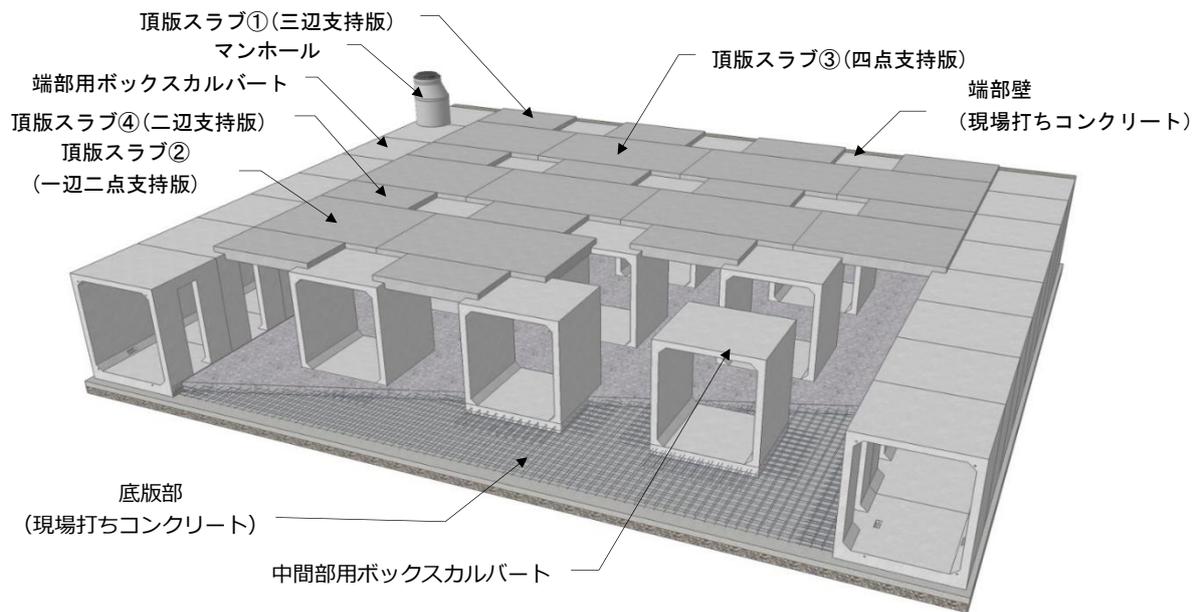


新ボックス型アグアの概要

新ボックス型アグアは、下水道や水路などに使用されている汎用型枠を使用して製造されたボックスカルバートと頂版スラブ、および現場打ちコンクリートで構築する底版部と端部壁の組み合わせからなる雨水貯留施設です。ボックスカルバートを横方向と縦方向の両方向へ一定の間隔を設けて敷設し、またボックスカルバートと頂版スラブを差し筋によって連結するシンプルな構造で耐震性、施工性、経済性に優れています。



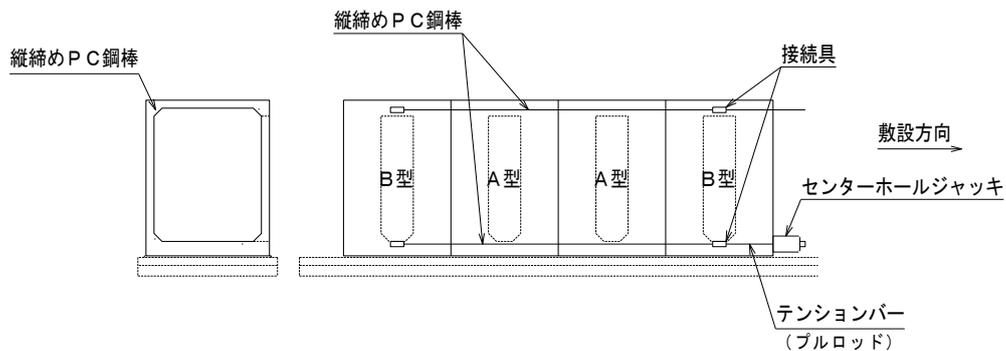
「新ボックス型アグア」の概要図

各部材の接合方法

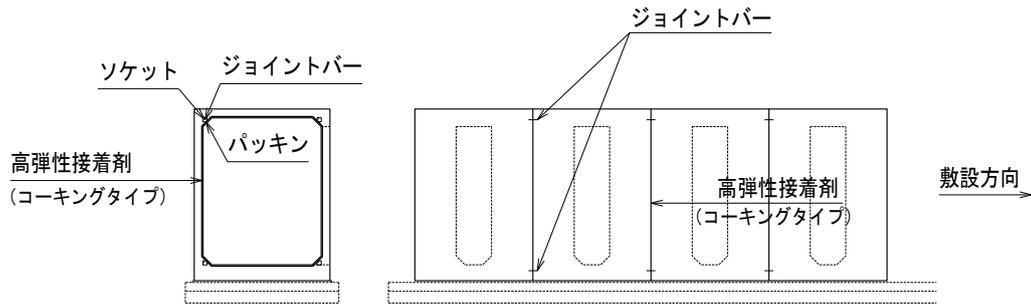
① ボックスカルバートどうしの接合方法

端部用ボックスカルバートの縦方向の接合は、P C 鋼棒による縦締め工法と高弾性接着剤を用いたT B (タッチボンド) 工法があります。

なお、T B 工法は、平成 20 年 10 月に先端建設技術・技術審査証明 ((財) 先端建設技術センター) を取得いたしました。



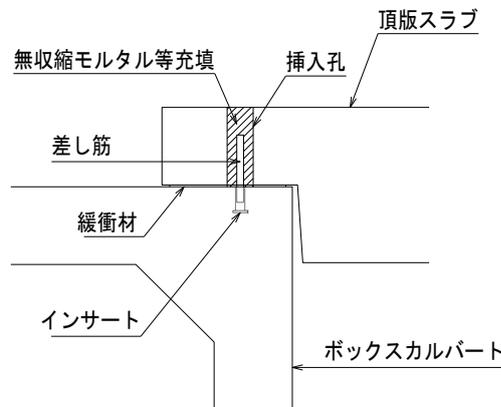
縦締め工法の概要図



TB工法の概要図

② ボックスカルバートと頂版スラブの接合方法

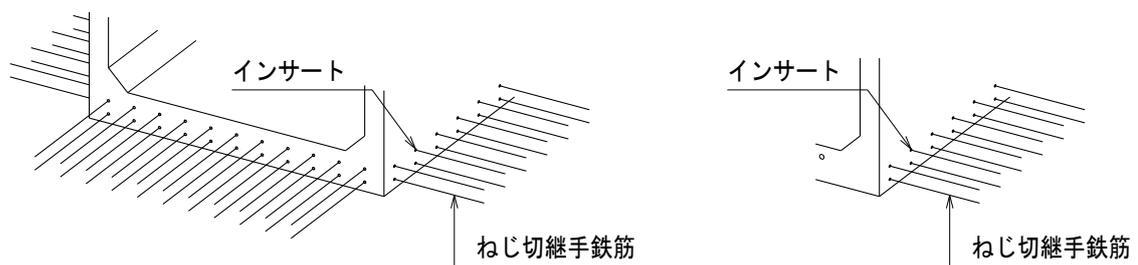
ボックスカルバートと頂版スラブの連結は、ボックスカルバートから差し筋を突出させ、頂版スラブに連結用の挿入孔を設け、組立て後に挿入孔の空隙部に無収縮モルタル等を充填させて据付けて行います。



ボックスカルバートと頂版スラブの概要

③ 底版部（現場打ちコンクリート）の接合方法

底版部とボックスカルバートとの取合い部は、製品にあらかじめ設置されているインサートにねじ切継手鉄筋を接合します。その後、ねじ切継手鉄筋と現場にて配置する鉄筋を強固に結束します。



底版部の接合状況の概要図

開発の目標

- (1) レベル1 およびレベル2 地震動に対する耐震性を有していること。
- (2) ボックスカルバートと頂版スラブの組み合わせにより施工期間を従来製品と比較して短縮できること。
- (3) ボックスカルバートと頂版スラブの組み合わせにより現場条件に応じた形状の貯留施設が構築できること。